

## 財務諸表(連結)

### 連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当期 (2017年8月31日現在)	前期 (2016年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,704,600	2,306,429
固定資産	473,950	954,362
資産合計	3,178,550	3,260,791
(負債の部)		
流動負債	901,020	868,652
固定負債	787,129	596,070
負債合計	1,688,150	1,464,723
(純資産の部)		
株主資本	1,475,353	1,757,150
新株予約権	12,746	40,404
純資産合計	1,490,400	1,796,068
負債・純資産合計	3,178,550	3,260,791

### 連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

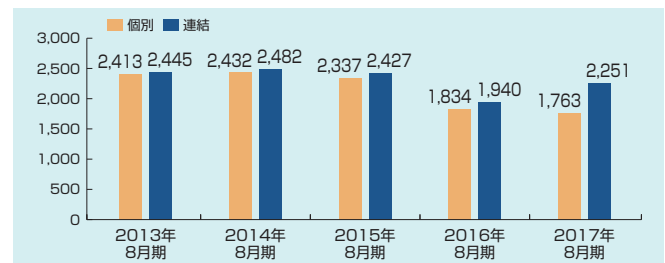
科目	当期 (2016年9月1日から 2017年8月31日まで)	前期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)
売上高	2,251,083	1,940,567
売上原価	1,306,457	978,635
売上総利益	944,625	961,932
販売費及び一般管理費	976,130	935,801
営業利益又は営業損失(△)	△ 31,505	26,130
営業外収益	712	2,462
営業外費用	14,807	88,691
経常損失	45,600	60,097
特別利益	104,409	15,370
特別損失	232,576	79,469
税金等調整前当期純損失	173,766	124,197
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,043
法人税等調整額	△ 64,027	15,690
当期純損失	110,939	140,931
非支配株主に帰属する当期純損失	168	1,342
親会社株主に帰属する当期純損失	110,770	139,588

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

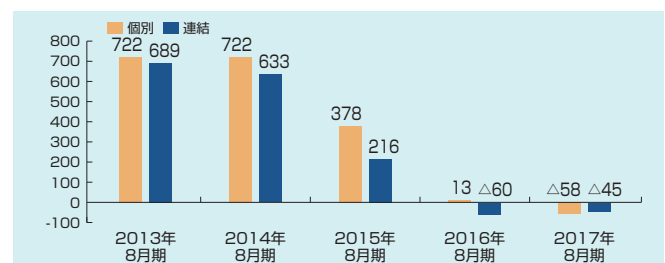
科目	当期 (2016年9月1日から 2017年8月31日まで)	前期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,587	196,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	277,270	△ 363,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 74,278	10,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,095	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	491,483	△ 155,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,735,069	1,890,132
現金及び現金同等物の期末残高	2,226,553	1,735,069

## 財務ハイライト

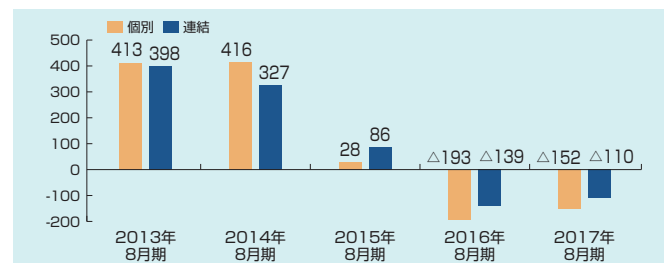
### 売上高 (単位:百万円)



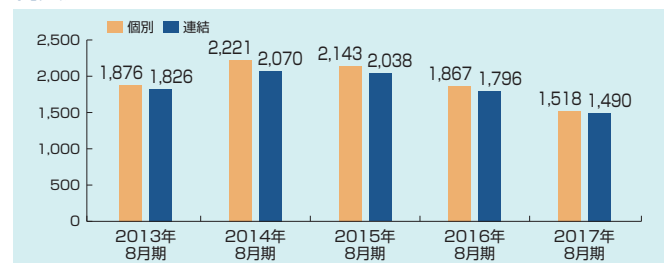
### 経常利益 (単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



### 純資産 (単位:百万円)



## 会社概要 (2017年8月31日現在)

商号 株式会社メディア工房  
 所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル12階  
 TEL: 03-5549-1804 FAX: 03-3586-4480  
 設立 1997年10月  
 資本金 451百万円  
 事業内容 デジタルコンテンツの制作、配信事業  
 eコマース等による物販事業  
 従業員数 135名(連結)

## 株式の状況 (2017年8月31日現在)

発行可能株式総数 45,200,000株  
 発行済株式の総数 11,300,000株  
 株主数 3,645名

所有者別株式分布状況

所有者種別	株数	割合
個人・その他	4,986,713株	44.13%
金融機関(証券会社を除く)	21,900株	0.19%
その他国内法人	5,078,800株	44.95%
外国法人等	181,000株	1.60%
証券会社	150,711株	1.33%
自己名義株式	880,876株	7.80%

## 株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで  
 定時株主総会 11月  
 基準日 8月31日  
 公告方法 電子公告により当社ホームページ  
 (<http://www.mkb.ne.jp/>)に掲載致します。  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によっ  
 て電子公告による公告をすることが出来ない場  
 合は、日本経済新聞に掲載致します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話お問合せ) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株主・投資家通信

## 第20期決算のご報告

2016年9月1日~2017年8月31日



証券コード: 3815

メディア工房 検索 <http://www.mkb.ne.jp/>

当連結会計年度におけるわが国の経済は、各種政策を背景に雇用環境並びに企業収益が改善され、緩やかながらも景気回復の傾向となりました。一方で、中国をはじめとする新興国の景気下振れに対する懸念や、米国新政権の政策運営が世界経済に与える影響が不安視されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。



代表取締役社長  
長沢 一男

このような経済情勢の中、当社グループは、全社横断的な体制を構築することで占いコンテンツの制作体制及び収益構造を再構築する他、ゲームセカンダリー案件の獲得に向けた営業強化、AI、VR等の最先端技術を活用する事業への先行投資など、引き続き積極的な事業活動を行ってまいりました。

こうした積極的な事業活動を行うことが出来るのは、ひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物でございます。

当連結会計年度においては、直接鑑定事業が順調に業績を伸ばし、連結売上高前年比増となったものの、既存占いコンテンツの売上不振の他、不採算事業として当社ゲームブランドであるOBOKAID'EM、並びにO2O事業の撤退を決定したことにより、誠に遺憾ながらも、連結当期純損失を計上することとなりました。

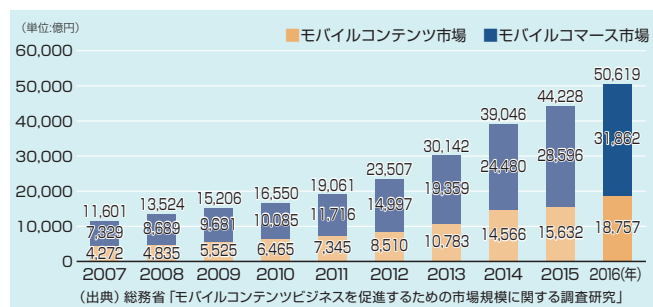
一方で第21期においては、占いコンテンツを中心とするメディア事業に注力することで、主軸である占いコンテンツ事業の売上回復を行うとともに、新規ゲームの開発とセカンダリーゲームの運営拡大により、子会社ルイスファクトリーの営業利益を増加させ、ゲームコンテンツ事業全体の黒字化を図ってまいります。

また、当連結会計年度においては、株主への利益還元、並びに当社事業活動の一層の活性化及び円滑性の向上を目的として、自己株式の取得を行っております。当社では、今後も積極的に新規事業の開拓及び海外展開を行うとともに、経営資源を効率よく合理的に運用していくことで、企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、相変わらぬ厳しくも温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 1 事業を取り巻く環境

当社グループの中心事業であるデジタルコンテンツビジネスにおいては、スマートフォンの普及の他、IoTデバイス数の増加等により、その市場規模は引き続き拡大し、2016年で前年比14.5%増である5兆619億円、その内モバイルコンテンツ市場は前年比20.0%増である1兆8,757億円<sup>(注1)</sup>となっており、今後もMR<sup>(注2)</sup>、VR<sup>(注3)</sup>等の技術進化によるコンテンツへの付加価値の創出により、ますます市場拡大するものと思われれます。



(注1) 総務省「情報通信白書平成29年版」によっております。

(注2) MR: Mixed Reality 複合現実

(注3) VR: Virtual Reality 仮想現実

### 2 海外展開と新規事業への投資



当社は、アジア諸国への海外展開を踏まえ、2017年9月15日付で中国法人「魅仕坊(上海)互聯網科技有限公司(英文表記: Media Kobo (Shanghai) Internet Technology Co.,Ltd.)を設立いたしました。当社では既存事業への依存

比率を低減していくことを経営戦略のひとつと位置付けており、当該子会社においては、新規事業を中心として事業を推進してまいります。一方で既存事業についても、現地法人の優位性を十分に活用し、積極的に展開してまいります。

### 3 今後の事業展開

#### ①占いコンテンツ事業

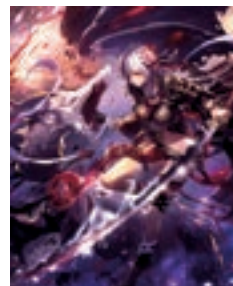
占いコンテンツ事業に関しましては、タイ、上海及び香港等のアジア市場への進出、並びに配信プラットフォーム先を拡充することで売上の回復に努めてまいります。また、優良なフリーミアムコンテンツの提供と、それによる流入を効果的に広告へ誘導することで、売上を回復から緩やかな増加へと繋ぐ考えであります。



「女性向けコラム×無料占い」をコンセプトとした占いサイト「カナク」

一方で、直接鑑定サービスに関しましては、既存の電話による鑑定サービスにおける新規システムの開発及び導入、並びに引き続きLINE株式会社へのサービス提供強化を行うことにより、増収を見込んでおります。

#### ②ゲームコンテンツ事業



ゲームコンテンツ事業に関しましては、子会社ルイスファクトリーにおける、ソーシャルゲームのセカンダリー事業を主軸とし、良質な運営移管タイトルの獲得に向けた営業強化、並びに新規ゲームの開発、配信プラットフォーム先の拡充と各案件における成功例の横展開により、1タイトルあたりの収益拡大を図ってまいります。



#### ③その他

新規事業に関しましては、中国現地法人を拠点に、現地開発企業との協力体制を強化し、VR、AR分野における様々な事業を推進いたします。

現時点においては、VR端末開発企業である中国法人Pimax Technology Co.,Ltd.と業



務提携契約し、日本における同社製品の販売総代理店業務の他、同じくVR端末開発企業である米国法人Double Me, IncとのVRを活用したイベント関連事業を予定しておりますが、その他のAR、VR事業に関しましても積極的に取り組んでまいります。

### 貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2017年8月31日現在)	前期 (2016年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,654,012	2,123,723
固定資産	499,635	1,192,011
資産合計	3,153,647	3,315,734
(負債の部)		
流動負債	847,994	852,427
固定負債	787,129	596,070
負債合計	1,635,124	1,448,498
(純資産の部)		
株主資本	1,503,476	1,826,831
新株予約権	12,746	40,404
純資産合計	1,518,523	1,867,236
負債・純資産合計	3,153,647	3,315,734

### 損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2016年9月1日から 2017年8月31日まで)	前期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)
売上高	1,763,365	1,834,480
売上原価	912,444	895,794
売上総利益	850,921	938,686
販売費及び一般管理費	896,524	893,703
営業利益又は営業損失(△)	△ 45,602	44,982
営業外収益	1,592	2,373
営業外費用	14,553	34,147
経常利益又は経常損失(△)	△ 58,564	13,208
特別利益	91,648	15,370
特別損失	249,790	200,947
税引前当期純損失	216,706	172,368
法人税、住民税及び事業税	530	657
法人税等調整額	△ 64,908	20,139
当期純損失	152,327	193,165